

中国の防空識別圏設定に強く抗議し、直ちに撤回を求める決議

中国国防省は11月23日、沖縄県石垣市の尖閣諸島上空を含む空域に、戦闘機が警告のため緊急発進（スクランブル）する際の基準となる「防空識別圏（ADIZ）」を設定したことを発表した。

言うまでもなく、尖閣諸島は我が国の領土であり、中国が領有権を主張したことによって大変厳しい対立と緊張を生じさせていることは、世界的な懸念材料となっている。その上、今回のような他国の領土の上空も含む一方的な防空識別圏の設定は、これまでの外交努力を無にするばかりか、いっそう軍事的緊張を高めることにしかならないことは明らかである。

どのような言い分があろうとも、ある国が実効支配している地域に対して、力によってその変更を迫るというやり方は、一時代前の誤った覇権主義であり、ASEANや中南米諸国を中心に広がっている、紛争の話し合いによる平和的な解決という、今日の世界の流れに逆行するものである。

国際都市を標榜する尾道市の唯一の議決機関として尾道市議会は、日中間のみならず、中国と他のアジア諸国及びアメリカとの軍事的緊張関係をいっそう募らせ、極東地域の平和と安定を脅かす今回の中国の防空識別圏設定に強く抗議し、直ちにその撤回を求めるものである。

以上決議する。

平成25年12月17日

尾 道 市 議 会